

町をあげて交通安全に努めよう

交通安全パレード出発式



▲ 出発式の様子 みんなで交通安全に努めましょう

四月六日から十五日までの十日間、春の全国交通安全運動が全国一斉に行われました。初日の六日、早朝には、JR三成駅前交通安全隊の隊員が設置され、ドライバーに安全運転を呼びかけ、午後には横田庁舎前で交通安全パレードの出発式が行われました。

四月六日から十五日までの十日間、春の全国交通安全運動が全国一斉に行われました。初日の六日、早朝には、JR三成駅前交通安全隊の隊員が設置され、ドライバーに安全運転を呼びかけ、午後には横田庁舎前で交通安全パレードの出発式が行われました。

出発式の中で石原雲南警察署長は「交通事故を無くす特効薬はありません。一人一人がしっかりとした交通安全に対する意識を高めていただきたい。新生奥出雲町が事故のない平穏な町になってほしい」と挨拶を行い、町内の無事故を祈りました。

今年、今年、「ルールとマナーで安全しまね」をスローガンに

- ・ 子供と高齢者の交通事故防止
- ・ シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ・ 二輪車の安全利用の推進

が運動の重点となつていきます。

みんなが気持ちにゆとりを持って交通安全に努めましょう。

奥出雲の治安を守る

雲南警察署三成広域交番開設式

島根県警の組織再編に伴い設置された雲南警察署三成広域交番の開設式が、四月八日に行われました。

式には、鎌田警察本部長をはじめとする県警幹部、町内の全警察官など約五十名が出席しました。

川島三成広域交番所長は「町民からの期待と責任を全員の自覚し、事件、事故にはいち早く対応して奥出雲の治安を守ります」と誓詞を述べました。

三成広域交番では所長以下四名の体制で、奥出雲町内の治安維持はもとより運転免許の更新業務など交通関係の許可事務などにあたります。

安維持、安全を守るため、全力を傾注します」と力強く決意表明がありました。

式典終了後には、白バイ、パトカーで町内を巡回するパトロール隊の出動式も行われました。



▶ 三成広域交番の職員紹介を行う川島所長

六十六名が希望を胸に

島根リハビリテーション学院で入学式

島根リハビリテーション学院の入学式が四月八日、カルチャープラザ仁多において行われました。

真新しいスーツに身を包んだ新入生六十六名（理学療法学科三十三名、作業療法学科三十三名）が希望と期待を胸に学院生活のスタートを切りました。

新入生を代表し、山崎緑さんは「この恵まれた環境と広いキャンパスで学べることをうれしく思います。」と誓詞を述べました。

また、下山理事長からは「絶えず自分の才能を磨き、心と力を合わせたチーム医療の一員となるよう努力してほしい」と告辞があり、新入生を激励しました。

新入生たちは式典終了後、記念撮影、教員の紹介、先輩から部活、サークル活動の説明などを受け、学院での新たな一歩を踏み出しました。



▶ 誓詞を述べる山崎さん